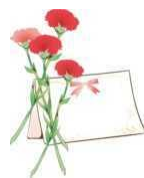


九条北小学校 校長室だより

NO.8 令和5年5月8日



ゴールデンウィーク明けの月曜日ですが、児童たちは、元気に登校してくれました。今日は、Teamsによる児童朝会を実施しました。



今日5月8日（月）は、「いじめについて考える日」です。「いじめを許さない学級・学校づくり」は仲間づくりの基本であることから、子どもたちがお互いについてよく理解し合い、相手の立場に立って考える機会とすること等を目的に、平成29年度から大阪市のすべての小中学校で取り組んでいます。



★「いじめについて考える日」★

「いじめについて考える日」を迎えるにあたって、九条北小学校の教職員全員で、どのように取り組んでいくか話し合ってきました。「いじめについての研修会」を実施し、「いじめ対応についての共通理解」もしました。そして、児童一人ひとりへ向けて「メッセージビデオ」を作成しました。各学級で「メッセージビデオ」を視聴するとともに、「いじめについて」考える機会を持ちます。

「他人の気持ちに寄り添える」人たちが増えて、「いじめは絶対に許してはいけない」と強い気持ちを持ち、「誰もが安心して過ごすことができる学校」をめざします！



★「いじめ(いのち)について考える日」★

今日5月8日（月）は、「いじめについて考える日」です。大阪市内では、すべての全小学校・中学校で「いじめについて考える日」に取り組んでいます。今年で7年目になります。なぜ、取り組んでいるかというところ、いじめに苦しんでいる人がいるからです。なかには、いじめが原因で命を落とした人もいます。とてもつらいことです。そのことを重大なこととして、今年度からは「いのちについて考える日」ともなりました。

みなさんの周りではどうでしょうか？ 悲しい思いやつらい思いをしているお友だちはいませんか？ いじめで苦しむお友だちをなくしたいですね。**九条北小学校でいじめをなくすためには、みなさんが、他の人の立場になって考えることができるようになることが大切です。**

「いやだ やめて」という言葉や、これと同じ意味の言葉をお友だちが言ったとき、そのお友だちの気持ちに気づいてあげてください。自分が、相手の「いやだ」ということをしているときは、すぐにやめましょう。また、自分でないけれど、相手の子が気づいていないときは、「いやだ、やめて って思っているよ。」と教えてあげてください。時には、「いやだやめて」と心で思っている、声に出していけないお友だちもいます。そういった、お友だちの気持ちに気づいてあげることができる人が増えると、**「いじめのない、だれもが楽しいと思える学校」**になります。

「いやだな」と感じることは、人によって違いがあります。人はひとりずつ、みんな違いますよね。違いがあってあたり前なのです。だから、自分は平気だからと言って、お友だちが平気とは限りません。自分と違う感じ方や思いがあることを理解し、そういったお友だちのことを理解できる人であってください。

みんなの力で、九条北小学校を「いじめのない、だれもが楽しいと思える学校」にしてください。ぜひ、自分のことと考え、取り組んでください！

